

解答は、すべて答案用紙に記入して必ず提出してください。

3 級

メイプル簿記検定 3 級 模 擬 試 験 問 題 用 紙

(制限時間 60 分)

簿記の教室 メイプル

第1問 (45点)

下記の各取引について仕訳しなさい。ただし、勘定科目は、各取引の下の勘定科目から最も適当と思われるものを選び、記号で解答すること。

- 1株当たり¥60,000で100株の株式を発行し、合計¥6,000,000の払込みを受けて株式会社を設立した。払込金はすべて普通預金口座に預け入れられた。
ア. 当座預金 イ. 普通預金 ウ. 資本金 エ. 利益準備金 オ. 繰越利益剰余金
カ. 支払手数料
- 得意先霞が関商店より注文のあった商品¥300,000(原価¥210,000)を発送し、代金のうち¥60,000は、同店より注文を受けたさいに受け取っていた手付金と相殺し、残額は掛けとした。なお、当社負担の送料¥8,000は、運送業者に現金で支払った。
ア. 現金 イ. 売掛金 ウ. 前払金 エ. 前受金 オ. 売上 カ. 発送費
- 駐車場として使用する目的で土地を賃借し、当月分の賃借料¥35,000を現金で支払った。
ア. 現金 イ. 普通預金 ウ. 土地 エ. 支払手数料 オ. 支払家賃 カ. 支払地代
- 取引銀行から借り入れていた¥5,000,000の支払期日が到来したため、元利合計を当座預金口座から返済した。なお、借入れにともなう利率は年1.46%であり、借入期間は120日であった。利息は1年を365日として日割計算する。
ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 貸付金 エ. 借入金 オ. 受取利息 カ. 支払利息
- 営業の用に供している建物の修繕を行い、代金¥320,000は来月末に支払うこととした。
ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 建物 エ. 買掛金 オ. 未払金 カ. 修繕費
- 商品(本体価格¥240,000)を仕入れ、代金は10%の消費税を含めて掛けとした。なお、消費税については、税抜方式で記帳する。
ア. 買掛金 イ. 仮払消費税 ウ. 仮受消費税 エ. 未払消費税 オ. 仕入 カ. 租税公課
- 従業員にかかる健康保険料¥140,000を普通預金口座から納付した。このうち従業員負担分¥70,000は、社会保険料預り金からの支出であり、残額は会社負担分である。
ア. 普通預金 イ. 従業員立替金 ウ. 社会保険料預り金 エ. 法定福利費 オ. 租税公課
カ. 保険料
- さきに得意先より受け取っていた小切手¥100,000と、前期中に受け取り手許に保管していた送金小切手¥40,000を、ともに当座預金口座に預け入れた。
ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 売掛金 エ. 受取手形 オ. 支払手形 カ. 売上

9. 商品¥30,000 を売り上げ、消費税¥3,000 を含めた合計金額のうち、¥13,000 は他社振出しの小切手で受け取り、残額は共通商品券を受け取った。なお、消費税は税抜方式で記帳する。
- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 受取商品券 エ. 仮払消費税 オ. 仮受消費税 カ. 売上
10. 売掛金¥240,000 を当社が振出していた小切手で回収した。
- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 売掛金 エ. 買掛金 オ. 受取手数料 カ. 支払手数料
11. 前期に貸倒れとして処理した売掛金のうち¥60,000 を現金で回収した。
- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 売掛金 エ. 貸倒引当金 オ. 償却債権取立益
カ. 貸倒損失
12. 決算日に売上勘定の貸方残高¥3,750,000 を損益勘定に振り替えた。
- ア. 資本金 イ. 利益準備金 ウ. 繰越利益剰余金 エ. 売上 オ. 仕入 カ. 損益
13. 営業に用いている建物の改良・修繕を行い、代金¥5,000,000 を、小切手を振り出して支払った。支払額のうち¥4,000,000 は建物の価値を高める資本的支出であり、残額は機能維持のための収益的支出である。
- ア. 現金 イ. 当座預金 ウ. 差入保証金 エ. 建物 オ. 修繕費 カ. 支払手数料
14. 商品¥800,000 を仕入れ、代金として同額の約束手形を振り出した。
- ア. 当座預金 イ. 受取手形 ウ. 支払手形 エ. 買掛金 オ. 仕入 カ. 支払手数料
15. オフィスのデスクセットを購入し、据付作業ののち、次の請求書を受け取り、代金は後日支払うこととした。

請 求 書			
メイプル商事株式会社 御中		A B C 商会株式会社	
品 物	数 量	単 価	金 額
オフィスデスクセット	2	¥ 900,000	¥ 1,800,000
配送料			¥ 10,000
据付費			¥ 50,000
合 計			¥ 1,860,000
×3年6月30日までに合計額を下記口座へお振込み下さい。 X銀行Y支店 普通 1234567 A B C ショウカイ (カ)			

- ア. 普通預金 イ. 備品 ウ. 買掛金 エ. 未払金 オ. 発送費 カ. 支払手数料

第2問 (20点)

- (1) メイプル株式会社は、甲社、乙社および丙社を販売先にしており、得意先元帳を開設している。そこで、次の得意先元帳の記入をもとにして、答案用紙の売掛金勘定の空欄を埋めなさい。ただし、期首の貸倒引当金の残高は¥54,000であった。

得意先元帳						
甲 社						
1/ 1	前 期 繰 越		327,000	3/ 7	返 品	55,000
3/ 5	売 上		550,000	9/25	約手にて回収	787,000
8/15	売 上		381,000	12/31	次 期 繰 越	416,000
			1,258,000			1,258,000
乙 社						
1/ 1	前 期 繰 越		264,000	5/13	返 品	38,000
5/10	売 上		443,000	11/30	小切手にて回収	625,000
10/20	売 上		168,000	12/31	次 期 繰 越	212,000
			875,000			875,000
丙 社						
1/ 1	前 期 繰 越		84,000	2/ 6	貸 倒 れ	84,000

- (2) 次の各取引の伝票記入について、空欄①～⑤にあてはまる適切な語句または金額を答えなさい。なお、当社では3伝票制を採用しており、商品売買取引の処理は3分法により行っている。

1. 商品を¥280,000で仕入れ、代金のうち¥80,000については現金で支払い、残額は掛けとした。

① 伝 票	
科 目	金 額
②	③

振 替 伝 票			
借方科目	金 額	貸方科目	金 額
④	280,000	⑤	280,000

2. 商品を¥660,000で売り渡し、代金のうち¥60,000については得意先振出しの小切手で受け取り、残額は掛けとした。

⑥ 伝 票	
科 目	金 額
売 上	⑦

振 替 伝 票			
借方科目	金 額	貸方科目	金 額
⑧	()	⑨	⑩

第3問 (35点)

次の(1)決算整理前残高試算表と(2)決算整理事項等にもとづいて、答案用紙の貸借対照表と損益計算書を完成しなさい。消費税の仮受け・仮払いは、売上取引・仕入取引のみで行うものとし、(2)決算整理事項等の6.以外は消費税を考慮しない。なお、会計期間は×1年4月1日から×2年3月31日までの1年間である。

(1) 決算整理前残高試算表

借方	勘定科目	貸方
366,000	現金	
1,147,000	当座預金	
559,000	売掛金	
450,000	仮払消費税	
300,000	繰越商品	
1,500,000	備品	
2,600,000	土地	
	買掛金	440,000
	借入金	800,000
	仮受消費税	780,000
	貸倒引当金	10,000
	備品減価償却累計額	625,000
	資本金	3,000,000
	繰越利益剰余金	721,000
	売上	7,800,000
4,500,000	仕入	
1,780,000	給料	
560,000	支払家賃	
126,000	水道光熱費	
210,000	通信費	
60,000	保険料	
18,000	支払利息	
14,176,000		14,176,000

(2) 決算整理事項等

- 現金の実際有高は¥361,000であった。帳簿残高との差額のうち¥4,000は通信費の記入漏れであることが判明したが、残額は不明のため、雑損または雑益として記載する。
- 売掛代金の当座預金口座への入金¥132,000の取引が、誤って借方・貸方ともに¥123,000と記帳されていたので、その修正を行った。
- 売掛金の期末残高に対して4%の貸倒引当金を差額補充法により設定する。
- 期末商品棚卸高は¥350,000である。
- 備品について、残存価額をゼロ、耐用年数を6年とする定額法により減価償却を行う。
- 消費税の処理(税抜方式)を行う。
- 借入金は×1年7月1日に借入期間1年、利率年4.5%で借り入れたもので、利息は12月末日と返済日に6か月分をそれぞれ支払うことになっている。利息の計算は月割による。
- 支払家賃のうち¥240,000は×1年12月1日に向こう6か月分を支払ったものである。そこで、前払分を月割により計上する。
- 未払法人税等¥120,000を計上する。なお、当期に中間納付はしていない。